

教えて！歯の治療&ケア

〈7〉

「審美歯科治療」で歯を美しく  
審美性が高いオールセラミック

ペリオインプラントセンター・広島「高井歯科医院」の高井康博院長に、見た目を美しくする「審美歯科治療」について伺った第2回目です。

Q 前回伺ったラミネートベニア以外の審美歯科治療の治療法とは？

A 今回は、メタルボンドとオールセラミックについて話します。これは、虫歯や外傷などで歯の神経を除去したり、

は、最終補綴（つ）物としてメタルボンドやオールセラミックをかぶせます。メタルボンドは金属にセラミックを焼き付けて白いかぶせを作り、オールセラミックはジルコニア（焼造タイヤ）などにセラミックを焼き付けました。以前はオールセラミックの強度に問題がありましたが、材料の進歩により装着後の破切などがかなり減少しており、また、金属を使用しないため光の透過性が良く、審美性を追求する場合に最適です。あまり審美性を求めない場合は、治療費の点からメタルボンドが適当でしょう。

歯冠の一部を大きく失った場合に適応します。神経を除去した場合、歯根の治療終了後にまず土台を作らなければなりません。以前は土台の材料として金属が使用されていましたが、最近ではファイバーで作製された土台（ファイバーコア）が普及してきました。この場合、金属アレルギーや歯根破切の予防、歯肉の色調を損なわない審美性が期待できます。ファイバーコアの上に



高井康博先生  
ペリオインプラントセンター・広島「高井歯科医院」院長、日本臨床歯周病学会認定医、J-IADSペリオインプラント講師、3ペリオインプラント公認講師



一番上は初診時、真ん中はファイバーコア装着時、一番下はオールセラミック装着時